

感染症治癒報告書（保護者記入）

荒川沖幼稚園長 殿

クラス 園児氏名

年 月 日 生まれ

（病名）

※裏面をご覧ください。

（医療機関名） （令和 年 月 日受診）

において、病状が回復し、集団生活に支障がない状態と診断されましたので、
令和 年 月 日より登園いたします。

令和 年 月 日

保護者名

※保護者の皆様へ

保育施設は、園児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人ひとりの子どもが一日快適に生活できるよう、裏面の感染症情報を参考に、子どもの健康回復状態が園での集団生活に適応可能な状態となつてからの登園となるようご配慮ください。

なお、この治癒報告書は、かかりつけ医の診断に従い、回復後登園される際にご記入の上提出してください。

感染症名	感染しやすい期間	登園の目安
麻疹（はしか）	発症 1 日前から発しん出現の 4 日後まで	解熱後 3 日を経過していること
インフルエンザ	症状がある期間（発症前 24 時間から発症後 3 日程度までが最も感染力が強い）	発症後 5 日を経過し、かつ解熱した後 3 日経過していること
新型コロナ感染症	発症後 5 日間	発症した後 5 日を経過し、かつ症状軽快した後 1 日を経過すること ※無症状の感染者の場合は、検体採取日を 0 日目として、5 日を経過すること
風しん	発しん出現の 7 日前から 7 日後くらい	発しんが消失していること
水痘（水ぼうそう）	発しん出現 1 ～ 2 日前から痂痂（かさぶた）形成まで	すべての発しんが痂痂（かさぶた）化していること
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発症 3 日前から耳下腺腫脹後 4 日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発症してから 5 日経過し、かつ全身状態が良好になっていること
結核	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
アデノウイルス感染 （咽頭結膜熱、プール熱）	発熱、充血等の症状が出現した数日間	発熱、充血等の主な症状が消失した後 2 日経過していること
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後 3 週間を経過するまで	特有の咳が消失していること又は適正な抗菌性抗生物質製剤による 5 日間の治療が終了していること
腸管出血性大腸菌感染症 （O157 等）	—	医師により感染の恐れがないと認められていること。 （無症状病原体保有者の場合、トイレ排泄習慣が確立している 5 歳児以上の小児については欠席の必要はなく、5 歳未満の子については、2 回以上連続で便から菌が検出されなければ登園可能である）
急性出血性結膜炎	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
侵襲性髄膜炎菌感染症 （髄膜炎菌性髄膜炎）	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後 1 日間	抗菌薬内服後 24～48 時間が経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水泡・潰瘍が発症した数日間	発熱がなく、口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれること
伝染性紅斑（りんご病）	発しん出現前の 1 週間	全身状態がよいこと
ウイルス性胃腸炎 （ノロウイルス、ロタウイルス等）	症状のある間と、症状消失後 1 週間（量は減少しているが、数週間ウイルスを排出しているので注意が必要）	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間（便中に 1 か月程度ウイルスを排出しているので注意が必要）	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RS ウイルス感染	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態がよいこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂痂（かさぶた）化していること
突発性発疹	—	解熱し機嫌がよく全身状態がよいこと